



## 合意書

国際セーフコミュニティ認証センター

及び

鹿児島市

は

外傷管理プログラムを継続的に実施することについて合意する。この取組みは、市域全域のすべての年齢の住民、あらゆる環境や状況を対象とするものである。私たちは、取組みを記録・評価し、自らの経験を積極的に国内外に普及させていくことについてここに合意する。

日本国 鹿児島市

2016年1月29日

森 博幸  
鹿児島市長

仮屋 秀一  
鹿児島市議会 議長

種部 滋康  
鹿児島県警察本部長

永山 恵子  
NPO 法人地域サポート  
よしのねぎぼうず 理事長

白 璐 (パイ・ル) 認証申請員(正)  
台湾 台北市  
台湾地域安全推進センター センター長

グールドブランド・シェーンボリ 認証審査員(副)  
スウェーデン スtockホルム  
国際セーフコミュニティ認証センター  
ジェネラルマネージャー・シニアアドバイザー

レイフ・スヴァンストローム  
スウェーデン スtockホルム  
国際セーフコミュニティ認証センター センター長

白石 陽子  
日本国 大阪市  
日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事



# 鹿児島市 セーフコミュニティ 認証式典



平成28年1月29日 (金)

城山観光ホテル

## 次 第

### セーフコミュニティ認証式典 (5階 ルビーホール 飛天)

#### 第1部 認証記念イベント (14:30～)

- 1 オープニングアトラクション (鹿児島市消防音楽隊)
- 2 開会あいさつ 鹿児島市長 森 博幸
- 3 セーフコミュニティ取組紹介
- 4 記念講演
  - ① セーフコミュニティ公認認証審査員 白 璐 (パイ ル) 氏
  - ② セーフコミュニティ公認認証審査員 グールドブランド・シェーンボリ 氏

#### 第2部 合意書署名式 (16:00～)

- 1 合意書署名
- 2 認証報告
- 3 認証盾・旗授与
- 4 式辞
- 5 祝辞



鹿児島市のセーフコミュニティ認証取得は  
世界で366番目、国内で12番目  
人口60万人規模の中核都市としては  
国内初の認証取得となります。

## 市長あいさつ



鹿児島市長 森 博幸

本日ここに「鹿児島市セーフコミュニティ認証式」を多くの皆様のご参加のもと、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

本市では、平成25年1月に、セーフコミュニティに取り組むことを宣言して以降、推進母体である「鹿児島市セーフコミュニティ推進協議会」や「外傷サーベイランス委員会」をはじめ、重点的に取組を行う「交通安全」「学校の安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「DV防止」「自殺予防」「防災・災害対策」の7つの分野にそれぞれ対策委員会を設置するなど、推進体制を整え、積極的に取組を進めてまいりました。

そして、この度、本市の取組が世界基準のレベルに達していると認められ、60万人規模の中核都市としては初めて、セーフコミュニティ国際認証を取得する運びとなりました。

これもひとえに、これまで一緒になって歩みを進めてまいりました市民、鹿児島県警察をはじめとする関係機関、団体、そしてモデル地区の皆様方のご理解、ご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

認証取得はゴールではなく、世界基準のレベルの維持・向上に向けたスタートであり、その継続こそが、本市が目指す「生涯にわたって安心安全に暮らせるまちづくり」を大きく前進させていくものと確信しております。

「セーフコミュニティかごしま」がゆるぎないものとなるよう、今後も引き続き、市民の皆様方とともに、セーフコミュニティ活動を市内全域で展開してまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年1月29日

## セーフコミュニティ国際認証取得までの歩み

平成24年度	1月	森市長による認証取得の取組宣言
平成25年度	5～8月	7つの分野別対策委員会を設置 (交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、 DV防止、自殺予防、防災・災害対策) モデル地区等を決定(DV防止、自殺予防分野を除く)
	6月	鹿児島県警察本部にセーフコミュニティ支援推進委員会を設置
平成26年度	10月	事前視察を実施
平成27年度	7月	認証申請書を提出
	9～10月	現地審査を実施
	1月	認証取得

## プロフィール



白 璐 氏  
(パイ・ル)

・台湾地域安全推進センター センター長  
・セーフコミュニティ公認認証審査員

ジョンスホプキンス大学(アメリカ)等で博士課程及びポストドク(研究員)として教育を受けた後、台湾に戻り、台湾医科大学及び国防医学院において生物統計学及びセーフティプロモーションを教える。2002年にセーフコミュニティを台湾に導入して以来、これまで約20のコミュニティをセーフコミュニティ認証に導いてきた。その熱心な支援から「台湾のセーフコミュニティの母」として信頼を受けている。鹿児島市の審査を担当。



グールドブランド  
シェーンボリ 氏

・国際セーフコミュニティ認証センター  
ジェネラルマネージャー  
シニアアドバイザー  
・セーフコミュニティ公認認証審査員

長年の行政へのコンサルタント、都市計画における経験のもとに、セーフコミュニティの総括者であるジェネラルマネージャーとして、セーフコミュニティの進め方についてアドバイスを行っている。近年増加しているアジアからの認証審査を数多く担当し、国の多様性をセーフコミュニティの反映させるよう尽力している。鹿児島市の審査を担当。



白石 陽子 氏  
(しらいし ようこ)

・博士(政策科学)  
・一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構(JISC)代表理事  
・セーフコミュニティ公認認証審査員

立命館大学大学院政策科学研究科博士課程在学中にセーフコミュニティの発祥地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)でセーフコミュニティを学ぶ。代表を務める日本セーフコミュニティ推進機構はセーフコミュニティ支援センター、インターナショナルセーフスクールの認証センターとして認定されている。鹿児島市のセーフコミュニティ活動を取組当初から支援。



趙 竣必 氏  
(チョ・ジュンビル)

・亜州(アジョー)大学医学部救急医療部教授  
・コミュニティセーフティプロモーションセンター センター長  
・セーフコミュニティ公認認証審査員

韓国延世大学医学部卒業。亜州大学医学部で救急医療を担当しているなか、傷害によって救急搬送される患者が後を絶たないことから傷害予防の必要性を実感する。その後、アメリカ滞在中にセーフコミュニティの概念に出会い、韓国にセーフコミュニティを導入した。現在、韓国内で約20のコミュニティの支援を行っており、これまで約50のコミュニティをセーフコミュニティ認証に導いてきた。鹿児島市の事前視察を担当。